

# 口丹 随想

ヒダサンショウウオと聞いてその姿を思い浮かべられる人はどれくらいいるでしょうか。サンショウウオと聞いて一般にすぐに思い浮かべるのは、国の特別天然記念物オオサンショウウオだと思います。

## ヒダサンショウウオ



NPPO法人亀岡人と自然の  
ネットワーカー会員  
宇野 洋平

出会えたのは両生類の魅力に心ひかれていたこと、ひたすらに亀岡の生き物を追い掛け回していたからでしょう。私が小学生の頃から変わっていない大好きな遊び方です。

ここに、いつ、どういふ風にいるのか、図鑑を読んでも当時は抽象的な表現にしか見えませんでした。後に図鑑の表現がいかに的確な説明かと理解するのですが、川の中、山の雪降り積もる中にも探しましたが見つからず、業を煮やした私は日本爬虫両棲類学会という専門家の会

に、つぎとそれは現れまじり紫褐色の背中に強い黄色がちらばめられ、横腹には銀色の紋が入る美しい色彩。人を傷つけるような鋭利な武器はなく、丸みを帯びた顔に大きな眼、ついにヒダサンショウウオの発見に至りました。

亀岡市で成体の確認は初行っています。亀岡は生物の多様性がとても豊かで今もなお人と生き物がともに暮らしている町です。

色めき立ちました。亀岡にもサンショウウオがいる。そこで当時、交流のあったNPPO法人の方に連絡を取り、情報を集め、地元で自治会へ連絡し調査の了解を頂きました。しかしながらサンショウウオの発見までには3年を要しました。

合に赴き、勉強しました。さまざまな研究成果を聞く中である高校生の発表が鍵となり、苦しんでいた図鑑の表現の理解に非常に参考になりました。どんな世代からでも学ぶべき点はあるものです。この経験から探す場所を絞り込み、適切な時期に現地に入り、満を持して探すと以外にもあ

めてでした。この頃にはNPPO法人には交流ではなく所属に変わり、現在も同市内でのサンショウウオの保全活動、水田の利用方法とカエル類の関係性の調査を

そう思います。

1989年大阪市生まれ。京都学園大(現京都先端科学大)卒。卒業後に同大学の事務職員。亀岡の自然に魅了され、NPPO法人亀岡人と自然のネットワーカーに所属し、生き物の保全活動を行う。日本爬虫両棲類学会会員。亀岡市曾我部町在住。